



How to MAKE

peta/peta pattern set vol.18

VOYAGE

材料・参考用尺

◇セーラーカラージャケット

- ・表地/6~8オンスデニム110cm巾×60cm
- ※解説では6オンスデニムを使用しています。8オンスで作る場合は、裾ベルト裏、カフス裏に別布(ローンなどの薄地)を使用してください。
- ・裏地/綿ローン白110cm巾×40cm
- ・リボンテープ(えりのライン)6mm幅×40cm
- ・ボタン(前あき)6mm×4個
- ・ボタン(袖口)5mm×2個
- ・60番ミシン糸各色(地ぬい用)
- ・ミシン対応ラメ糸(飾りステッチ用)
- ・薄手の接着芯 適量
- ・装飾用ビーズ適量

◇マリンパンツ(膝上丈)

- ・表地/コットンフランネル110cm巾×40cm
- ※コットンフランネルは中厚シーチング程度の厚さです。デニム程度の厚地で作る場合は、ベルト裏、ポケット袋布に別布(ローンなどの薄地)を使用してください。
- ・リボンテープ(裾のライン)4mm幅×50cm
- ・ボタン(前あき、後ろポケット)5mm×9個
- ・60番ミシン糸各色(地ぬい用)
- ・薄手の接着芯 適量

※スカートの作り方はパターンの中に入れてあります。解説の写真はサンプル縫製時に撮影している為、一部、実際のパターンとバランスやデザインが異なる部分があります。ご了承ください。



1 裏前みごろと見返し、後ろ中心みごろと後ろ脇みごろ、袖のパーツ(表地裏地それぞれ)を中表にぬい合わせ、ぬいしろを方倒ししてアイロンで整えておきます。(ぬいしろの倒し方向は、表地と裏地で逆になるようにしておきます。) カフスと裾のベルトは出来上がり線で折り目をつけて、裏側の upper 端を二つ折りにしてステッチで押さえておきます。



2 前みごろのピンタックを入れて、表から押さえステッチを三か所入れます。ピンタックの折り幅は、生地の厚みによって微調整が必要になります。出来上がりサイズのパターンを参考に調整してください。(付属の展開パターンは6オンスデニム程度の厚さに合わせています。) ←の写真は右が表面、左が裏面です。タックは中心に向かって倒すデザインになっています。



3 後ろ、前共にわきみごろと中心みごろをぬい合わせたら、表地には飾りステッチを入れます。ミシンにラメ糸と14番針をセットして、針目は2mm程度に設定し、ゆっくり丁寧にない進めてください。袖は、ガゼットの切り替え部分と、前後ろ袖の切り替えのあきどまりまで、飾りステッチを入れておきます。



4 ミシン糸を地ぬい用の糸に戻して、肩と前後ヨーク切り替え、みごろをぬい合わせ、ぬいしろを方倒しにしてアイロンをかけ整えます。その後、ミシン糸をラメ糸に変えて飾りステッチを入れます。裏地も同様に肩線をぬい合わせ、ぬいしろを方倒しにしてアイロンをかけておきます。



5

表衿の出来上がり位置をアイロンで折り目を付け、飾りテープをたたきつけておきます。テープは、しつけをしてからミシンでたたきます。



裏地みごろと表衿、表みごろと裏衿をそれぞれ中表にぬい合わせます。先にえりぐりのカーブをぬい合わせてから、前端～切込みのポイントまでの直線をぬい合わせるとよいです。ぬいしろは割り、余分なぬいしろはカットします。



7

表袖と表みごろの袖ぐり、裏袖と裏地みごろの袖ぐりをそれぞれ中表にぬいあわせ、ぬいしろのカーブには切込みを入れ、表地のぬいしろはみごろ側に、裏地のぬいしろは袖側に倒します。表地のみ、ラメ糸で飾りステッチを入れます。

8

わきの下を中表に重ね合わせ、袖口～ウエストまでをぬいあわせ、表地のぬいしろは割り、裏地は前側に倒しておきます。



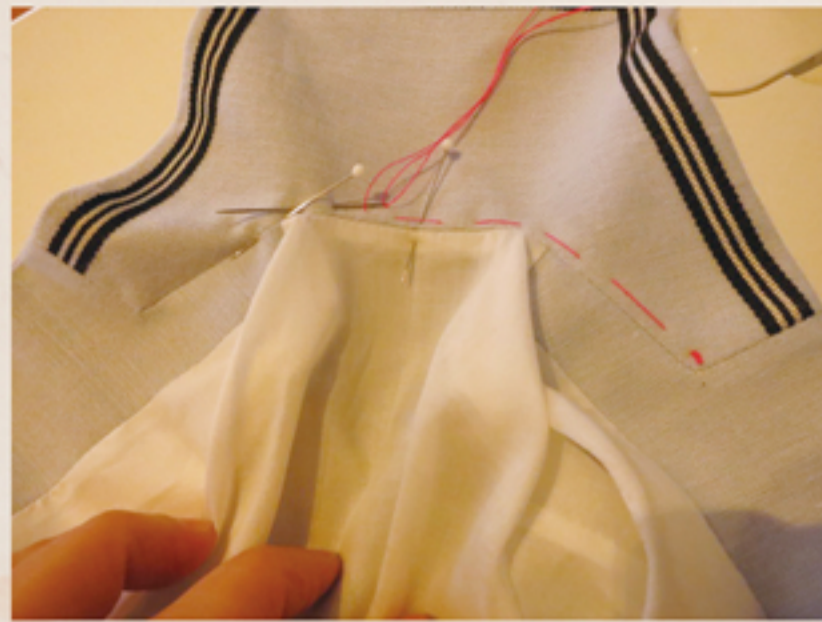
9

衿をぴったりそろえて表地、裏地を中表に重ね合わせ、前端～衿のふちをぬい合わせます。その後ぬいしろ幅は半分くらいに切り、衿付け部分の余分なぬいしろ角はカットしておきます。



10

表に返してアイロンで整え、前端～衿のふちにコバステッチを入れておきます。ここは衿の飾りのテープの雰囲気のに合わせてお好みで、ラメ糸のステッチでも、見生地と同色のステッチでもOKです。



11 えりぐりのぬいしろが浮かないように、表地裏地をぴったりそろえてしつけをしておきます。

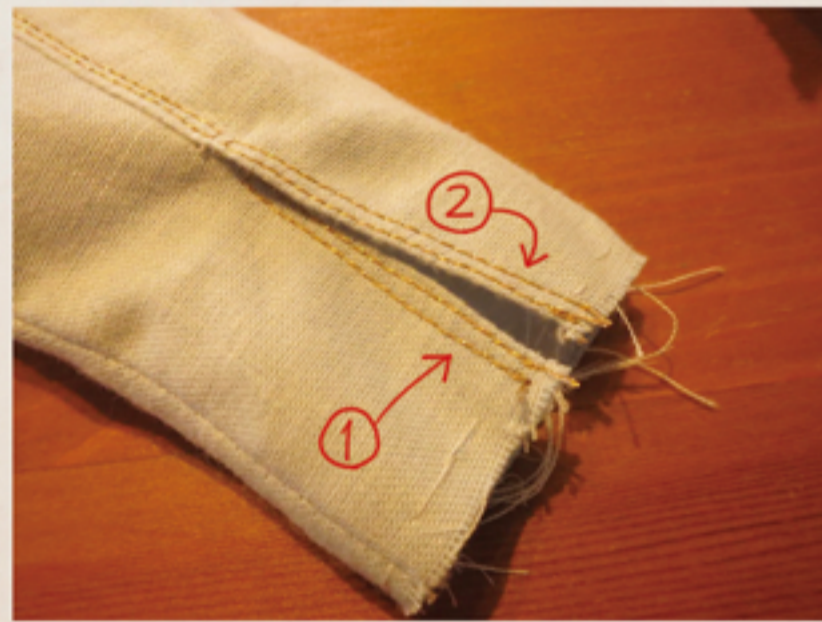


12 裏地が浮かないように、脇の下と肩線を中としします。裏地と、表地のぬい代だけをすくって、表に出ないように小さく星止めをしておきます。

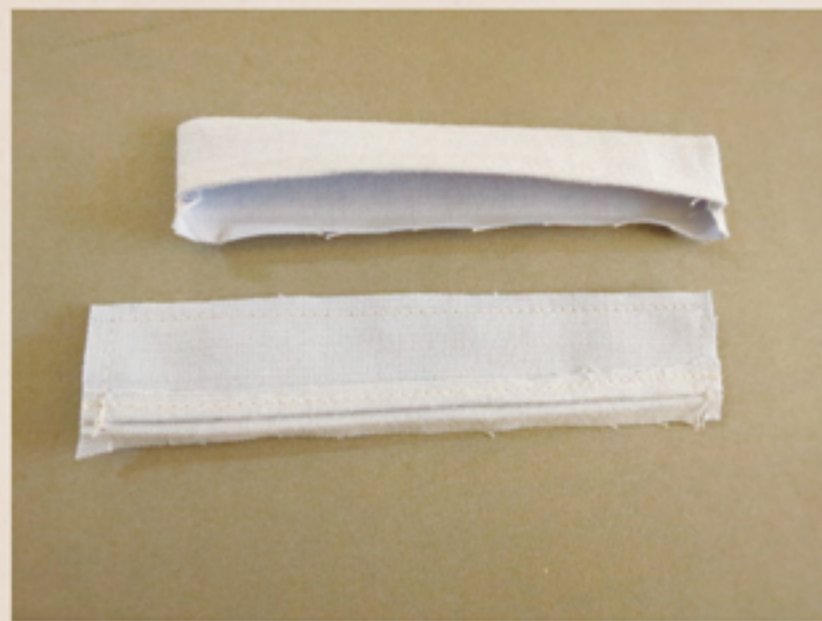


13

衿側に押さえステッチを入れておきます。ステッチを入れたら、しつけをはずします。裾も表地裏地をそろえて、仮止めステッチを入れておきます。



14 袖口にあき部分の裏地と表地を、突き合わせにしてまつっておきます。その後、あきどまりまでの飾りステッチを表から入れておきます。
※先に、下に重なるほう(下袖側)をかけてから、上袖側にステッチをいれます。
袖口は裏地と表地をそろえて仮止めステッチを入れておきます。



15 袖口カフと裾のベルトは、それぞれ中表に重ねてぬいあわせ、ぬいしろの幅を半分くらいにカットして、表に返してアイロンで形を整えておきます。



16 裾のベルトとみごろの裾を中表に重ねてぬいあわせ、ぬいしろ幅を半分くらいにカットして、ぬいしろをベルトの中に入れて、まつりぬいします。



17

袖口のカフスも裾ベルトと同様に、中表にぬい合わせてからぬいしろ幅をカットし、内側をまつります。



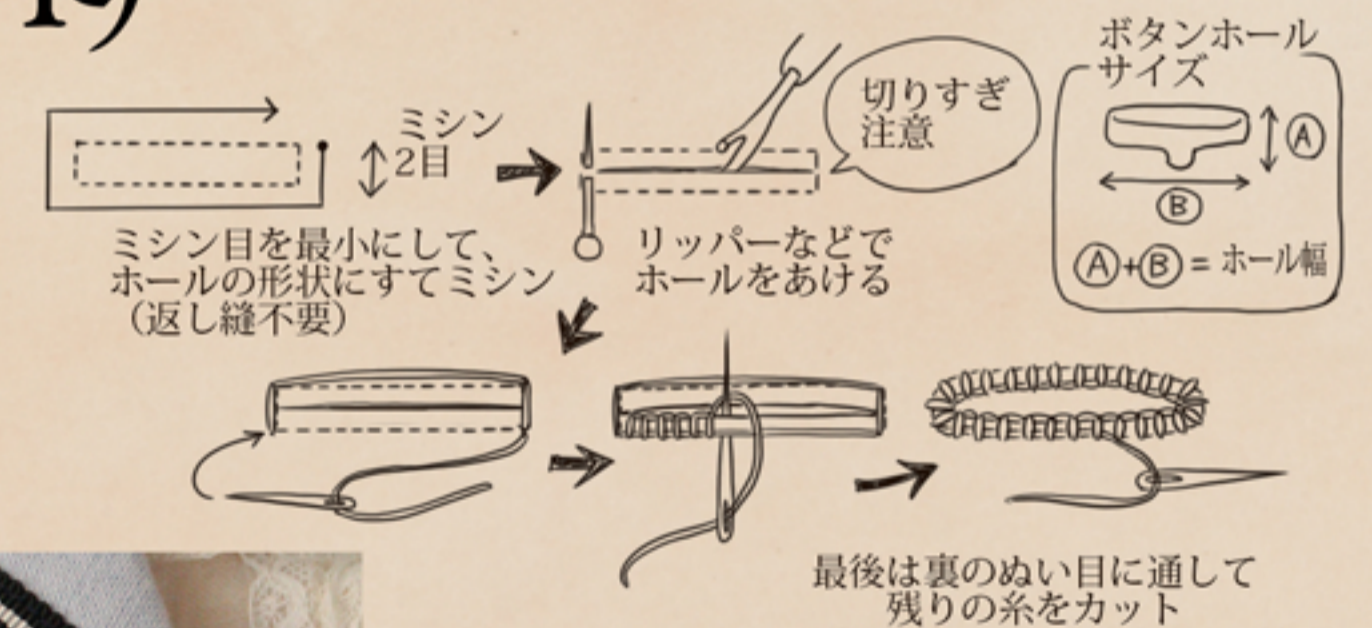
18

カフスとベルトをアイロンで整えたら、ミシン糸をラメ糸に変えて、表から飾りコバステッチをいれます。
※厚みが出る角は、ステッチを入れる生地反対側にも、生地の厚さとおなじくらいに折り重ねたハギレを添えながらぬい進めると、ミシンの送りがスムーズにいくので、ミシン目が乱れずきれいにぬえます。



19

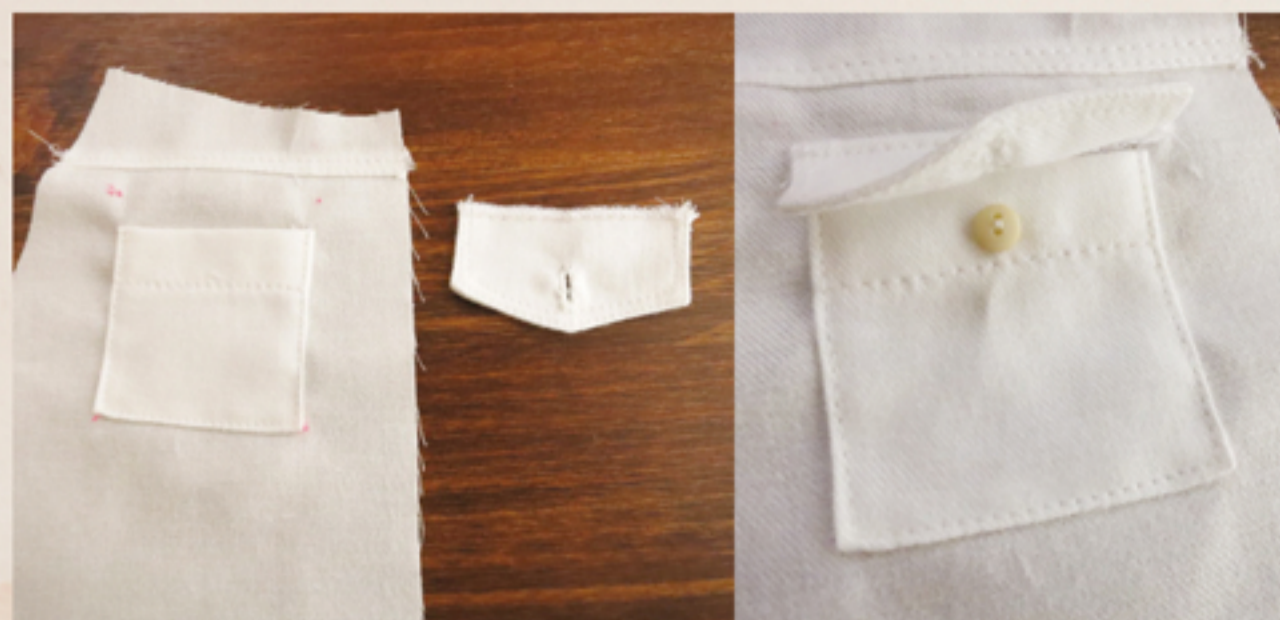
ボタン付け位置を確認して、ホールをあけます。



20

製品洗い(水洗い)を行う場合は、ボタン付けの前に行ってください。
仕上げに、前あきとカフスにボタンをつけ、衿の飾りテープの端にビーズをぬいつけて完成です。

W前あきマリンパンツ 作り方



1

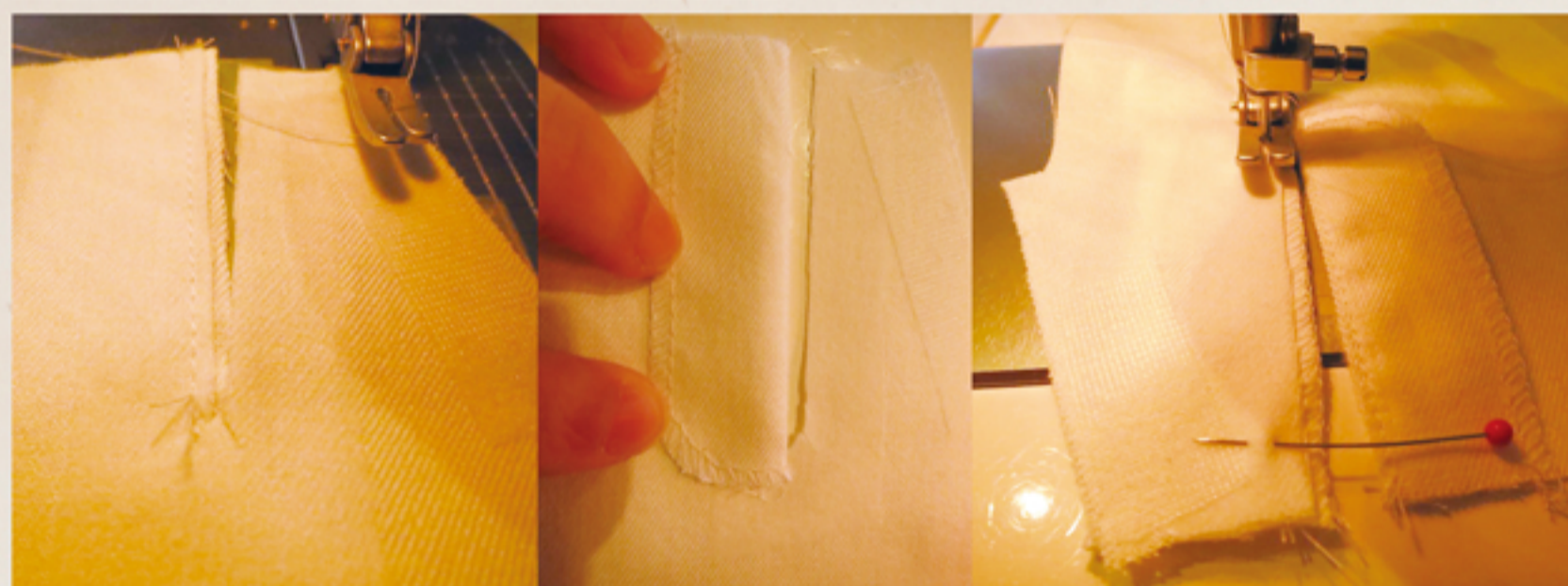
後ろパンツとヨークを接ぎ、ぬいしろをロック始末してからヨーク側に倒して、表からステッチを入れます。
右後ろパンツにはポケットとフラップを作って付けます。フラップにはホールをあけ、ポケット側にボタンを止付けます。



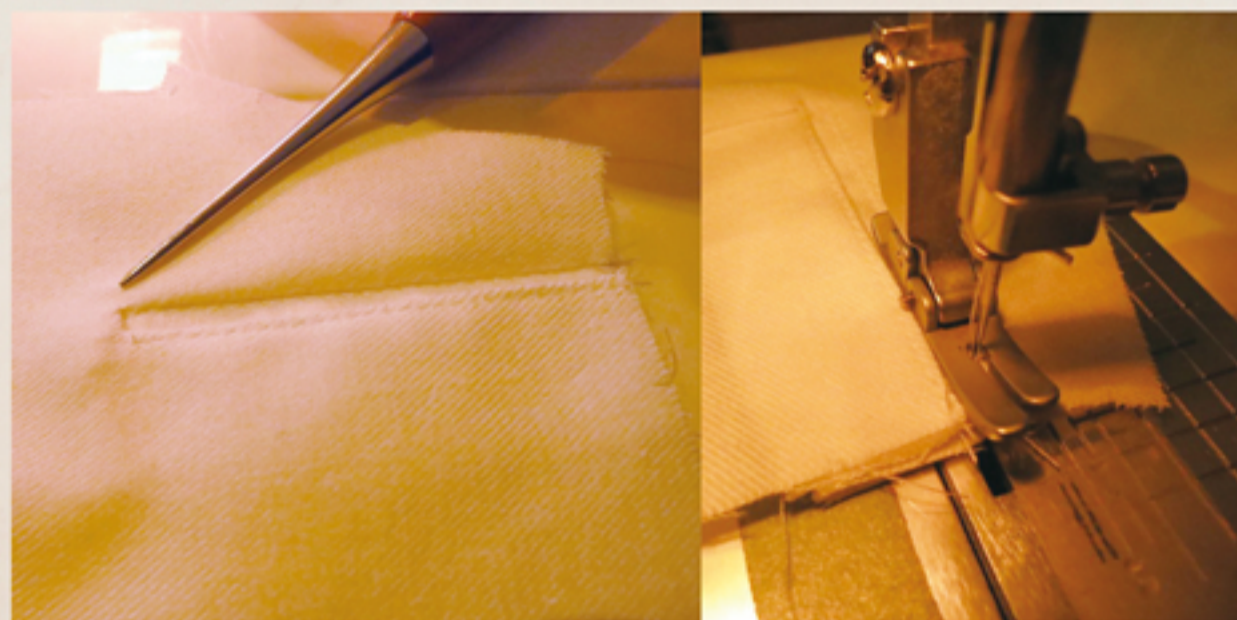
2

ベルトのパーツは、出来上がり線にアイロンで折り目をつけておきます。
ベルト内側の、パンツと接ぐ辺は折り返した状態でステッチを入れておきます。

3

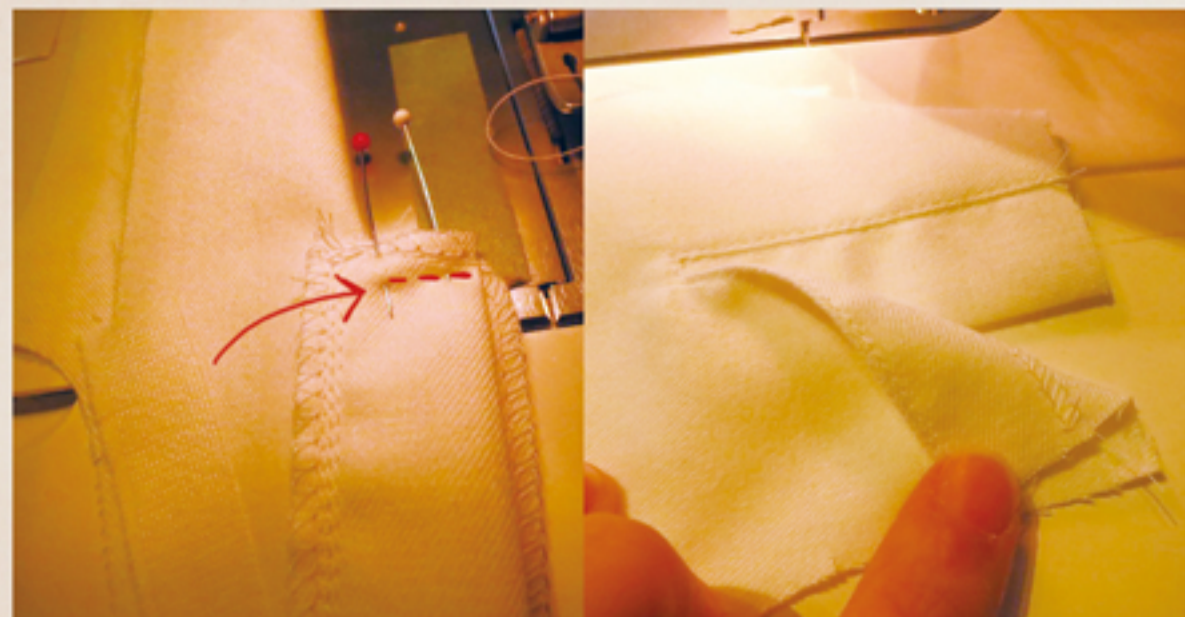


前のあきを作ります。はじめに見返しを前パンツの上に中表に重ねて切込みの角までぬい合わせ、内側に返して切込み角まで表からコバステッチを入れます。



4

持ち出しも、前パンツ上に中表に重ねて切込みの角までぬい合わせ、見返しの下に重なるように整え、アイロンで整えます。切込みの下の辺の小さな三角形のぬいしろを内側に折り込み、裏側でつまんで持ち出しにぬいつけ、表からコバステッチを入れます。



5

最後に、持ち出しとみかえしのあきどまり位置をそろえて重ねて、裏側からステッチを入れておきます。
※左パンツのあきも同様につくります。



6

前パンツにポケットをつくります。
袋布と前パンツを、ポケット口をそろえて中表に重ねてぬい返し、ポケット口にステッチを入れます。
向こう布を下に重ね、ポケット袋布と周りをそろえてぬい合わせ、ロック始末。脇もずれないようにミシステッチでぬいしろを押さえておきます。
左右同様につくります。



7

脇をぬい合わせます。
前パンツ、後ろパンツを中表にかさねて脇をそろえてぬい合わせ、ぬいしろはロック始末。
ぬいしろを後ろ側へ倒して、アイロンで押さえたら、表からコバステッチをいれておきます。

8



裾にロックミシンをかけ、端にリボンをたたきまます。
出来上がり位置で折り返し、ロックミシンをかけた部分を内側に折り込み、リボンの上からミシンでたたいてとめます。



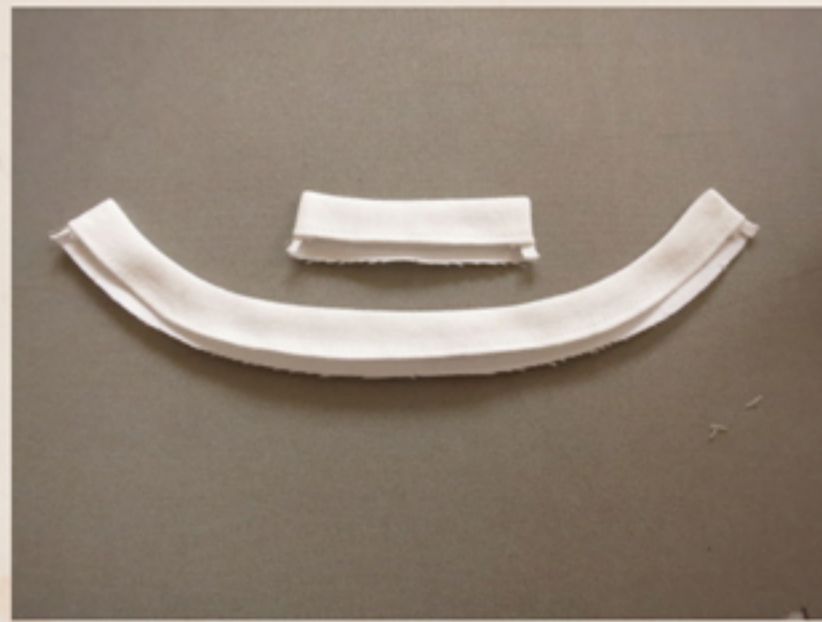
9

またぐりをぬい合わせます。左右のパンツを前中心、後ろ中心をそれぞれ揃えて重ねてぬい合わせ、ぬいしろはロック始末。
後ろ側は左パンツ側に、前は右パンツ側に倒してアイロンをかけ、表からコバステッチを入れておきます。
※裾のリボンテープは、裾を折り返したときに表から見えるように付くため、この時点では裏側にあります。



10

股下をぬい合わせます。股下を前後重なるように揃えて、裾～股下～裾をぬい合わせ、ロック始末。ぬいしろは後ろ側に倒してアイロンをかけて押さえます。
裾口のぬいしろは、浮かないようにまつりぬいで止めておきます。



11 ウエストベルトと前ベルトをそれぞれ中表に重ねてぬい合わせ、ぬいしろ幅を半分くらいにカットし、カーブに切込みを入れて表に返してアイロンで形を整えます。



12 ベルトをつけます。前中心側には前ベルト、後ろ側にはウエストベルトをそれぞれ中表に重ねてぬい合わせます。前ポケットと持ち出しは、重ねていっしょにぬいこみます。余分なぬいしろ幅をカットして、カーブには切込みをいれ、ぬいしろをベルトの中に折り込みます。



13 ベルトが付いたら、前ベルト、ウエストベルトそれぞれ裏側をまつりぬいします。



14 アイロンでベルトの形を整えて、表からコバステッチを入れます。



15 前あき部分にホールをあけ、ボタンをとめつけて完成です。
(前あき部分はホールにせず、スナップや面ファスナーにして、ボタンは飾りにしてもOKです。)
裾は折り返すとテープが見えるようになります。